札幌市立羊丘小学校　学校だより

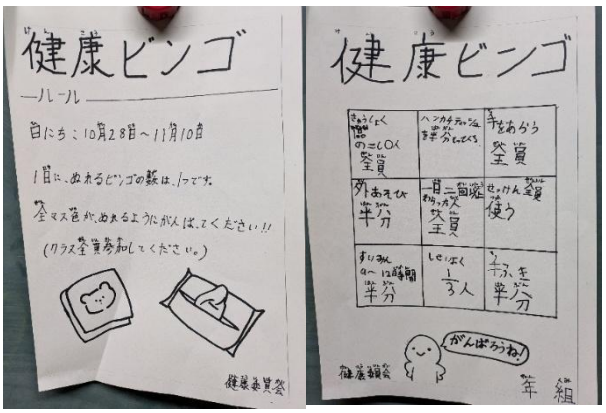
ひつじがおか

2026年11月25日　　第９号　　☏ 851-9353（平日８：10～16：40）

委員会活動について

児童活動部





札幌市では【一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり】を目指し、札幌市内の全ての小中学校の子どもの意見を集めて決めた共通の合言葉、さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」が示されています。その合言葉が、「さっぽろっ子自治的な活動」を推進していくよりどころとなっています。

本校の児童活動は、委員会活動（5、6年生）、羊っ子活動（縦割りと呼ばれる1年生から6年生までが所属するように分けられたグループ活動）、クラブ活動（4年生から6年生）の三つです。この三つの活動を充実させることで、子どもたちの協調性、リーダーシップ、自己有用感、他者意識、創造性や自治的能力など様々な資質や能力の向上を目指しています。

ビンゴというのは委員会活動の話合いの中で出てくる、子どもたちのアイデアの一つです。今回は、健康委員会の健康ビンゴの取組を紹介します。このビンゴは、10月28日～11月10日の期間実施されました。

健康委員が各クラスにルールの説明に訪れ、ビンゴカードをもらった学級がビンゴを揃えるべく日々チャレンジをします。

「給食一品残し0人　全員」「手を洗う　全員」「ハンカチ・ティッシュを持ってくる　半分」など、羊丘小学校の健康に関する課題について、みんなの意識をレベルアップできるような内容を委員会の時間に話し合って決めています。

ビンゴという仕掛けで意欲を喚起し、全校の取組を促しています。最後は校内放送で表彰されたり、賞状がクラスに届けられたりすることもあり、「これからも続けていこう。」という健康に関する習慣化に向けた意欲付けにつなげることもできています。

他の委員会でも、学校のルールを守る意識を高めるための学校ルールクエスト（代表委員会）、朝の放送に耳を傾ける人を増やすことをねらった色ビンゴ（放送委員会）、全校児童の運動時間を増やすための体力ビンゴ（体力向上委員会）など、学校の課題に応じ、工夫して様々な取組を行っています。

「羊丘小学校の委員会活動ってどんなことをしているの。」と、御家庭でも話題に上げ、子どもたちの頑張りに励ましのお声掛けをしていただけると嬉しく思います。

12



生活目標

友だちのよさを認め合おう

1	火	羊っ子プチ遊び⑤
2	水	ALT SC(PM)
3	木	ALT
4	金	ひまわり5、6年：ノルベサ（1日　弁当）
5	土	
6	日	
7	月	返本週間～１２日　ALT
8	火	ALT
9	水	SC(AM)
10	木	
11	金	児童委員会⑧6年最終
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	ALT　KDDI出前授業(456年、保護者参観可)
16	水	ALT　冬休み図書貸出（高） PTA資源回収
17	木	冬休み図書貸出（中・ひ）
18	金	冬休み図書貸出（低）　SC(PM)
19	土	
20	日	
21	月	大掃除週間～２５日
22	火	ALT
23	水	ALT
24	木	
25	金	終業式　全学年4時間授業（給食あり）　安全点検日
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

スキーボランティア募集について

今年度、藻岩山でのスキー学習を以下の通りの日程で実施する予定です。

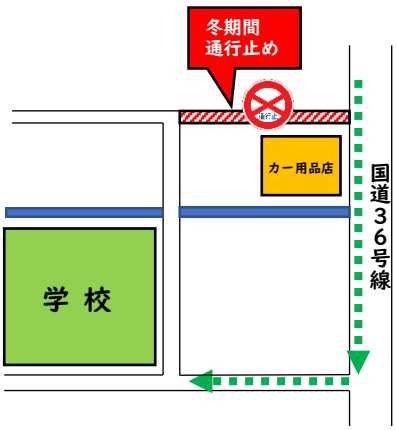
２月２４日（水）５・６年生

２月２６日（金）３・４年生・ひまわり３～６年生

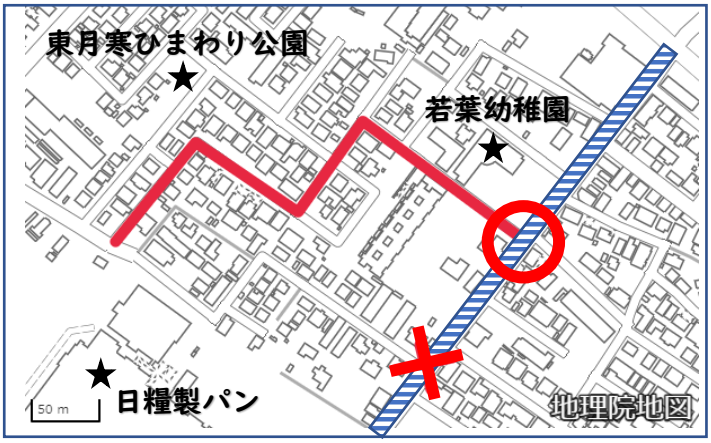
両日とも行きは、８時 45 分学校発、９時 25 分藻岩山到着予定です。帰りは、13 時 30 分藻岩山発で、14 時 10 分学校着の予定です。

毎年行っている藻岩山スキー学習での「スキーボランティア」を、２月になりましたら「すぐーる」で募集します。ボランティアは、指導者の補助として活動していただきます。詳しくは、近くなりましたらお知らせします。

冬道の安全について



冬期間、左の地図にあるカー用品店横の通学路を通行禁止にしています。この道は、勾配がきつく、凍結すると危険であるための措置です。通行禁止の終了は、路面状況を見て決めます。



冬期間、上の地図の斜線部分の道路は、歩道が雪で埋もれ、道幅が狭くなりますが、車の往来が多く大変危険であると地域の方から御指摘があるところです。この道を通学路として使っているお子様には、車に十分気を付けるようお声掛けください。

また、❌印の地点は横断歩道がありません。車の通行量が多く、大変危険な場所になっています。黄色コースのお子様たちは、多少遠回りになりますが、〇印の地点にある若葉幼稚園前の横断歩道を渡るようお願いします。

これから、本格的な冬を迎えます。積雪状態になる前に、今一度冬道の交通安全について、以下の点に気を付けるようお子様にお話しください。

- **青信号でもスリップなどで停止できない車があるので、左右の確認を確実に行って車道を横断する。**
- **登下校中、雪玉をつくって投げると、思わぬところに飛んで行って、事故につながる危険がある。**
- **歩道の雪山に上ると、車道に転落する恐れがあるので絶対に上らない。また、民家、店舗、工場の敷地などを通って近道しない。**